

同時発表：えりも町

えりも沿岸域におけるブルーカーボンによる CO₂吸収量の現地調査を公開します

えりも沿岸域での天然コンブ漁場を対象としたブルーカーボンによるCO₂吸収量を把握するため、えりも町とえりも漁業協同組合により潜水調査の現地調査の状況を公開します。

1 日 時 令和5年6月30日（金） 歌別地区（潜水調査）

- 9：20 : 現地集合、調査の概略説明（別紙1）
9：30 : 歌別漁港出航
9：45～10：45 : 潜水調査（水中カメラ撮影、試料採取）
11：00 : 歌別漁港入航（採取試料陸揚げ）
11：10～12：00 : 室内試験（試料の分類試験・湿重量計測）

※荒天により中止する場合があります。中止する場合には、7：00を目処に中止の判断を行い、参加者にご連絡します。その際、次回開催予定日も併せてお知らせいたします。

※潜水調査時に撮影した藻場の写真は、後日、提供可能です。

※報道関係者は調査船に乗船できませんが、潜水調査（沖合約250m）沿岸からの撮影が可能です。

2 取 材 取材を希望される報道関係者は、別添「取材申込書」に必要事項をご記入のうえ、令和5年6月29日（木）15時までに、以下メールアドレス宛てに送付ください。

※送付先：erimo-sangyou@town.erimo.lg.jp（えりも町役場 産業振興課 宛て）

3 そ の 他 調査全体の概要は別紙2のとおりです。今後、北海道大学大学院情報科学研究院によるAIを用いた画像処理の状況を公開する予定です。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

港湾空港部 港湾計画課 港湾企画官 古屋 武志（内線 5612）

上席専門官 大沢 佳宏（内線 5615）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

えりも町役場 産業振興課 水産係 電話 01466-2-4624

係長 伊藤 圭輔

上級主事 明神 孝幸



取材申込書

<入力事項>

取材代表者氏名 (外、取材同行者人数)	(名)
所属(会社名)	
電話番号	
メールアドレス	
現地取材への参加	参加する ・ 参加しない (どちらかに○を付けて返信ください)
動画・静止画の提供	希望する ・ 希望しない (どちらかに○を付けて返信ください)

<送信先>

えりも町役場 産業振興課 宛て

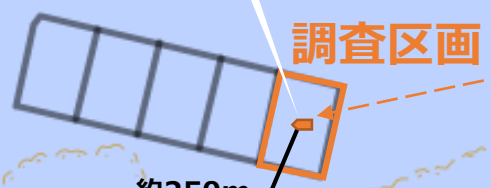
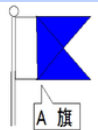
メールアドレス : erimo-sangyou@town.erimo.lg.jp

<注意事項>

- ✓ 取材を希望される報道関係者は「参加する」に○を付け、返信をお願いいたします。
- ✓ 令和5年6月29(木)15時までに、メールにて本取材申込書を送付ください。
- ✓ 申込み受領後に確認メールを送付させていただきます。確認メールが届かない場合は、電話(01466-2-4624)にてお問い合わせください。
- ✓ 取材の際は、コンブの干場には立ち入らないようご注意ください。



潜水A旗を掲げた小型船です



歌別漁港

集合箇所

撮影可能

撮影可能箇所へのルート
(当日、ご案内します)

国道からのルート

至えりも町役場

※注意事項：コンブの干場には立ち入らないで下さい

- 北海道開発局と寒地土木研究所は、ブルーカーボンによるCO₂吸収に関する調査・推計の実績に基づき、えりも町とえりも漁業協同組合が実施するドローンや潜水士による現地調査結果から、両者が連携し、天然コンブ漁場のCO₂吸収量を把握します。
- さらに、北海道大学大学院情報科学研究院・長谷山研究室とも連携して、ドローンによる撮影画像からAIにより、海藻類の広大な生息面積を効率的に算出する技術開発を進めます。

えりも町 えりも漁業協同組合

- コンブの生育状況の水中調査
- ドローンによるコンブ漁場の空中撮影

北海道開発局 寒地土木研究所

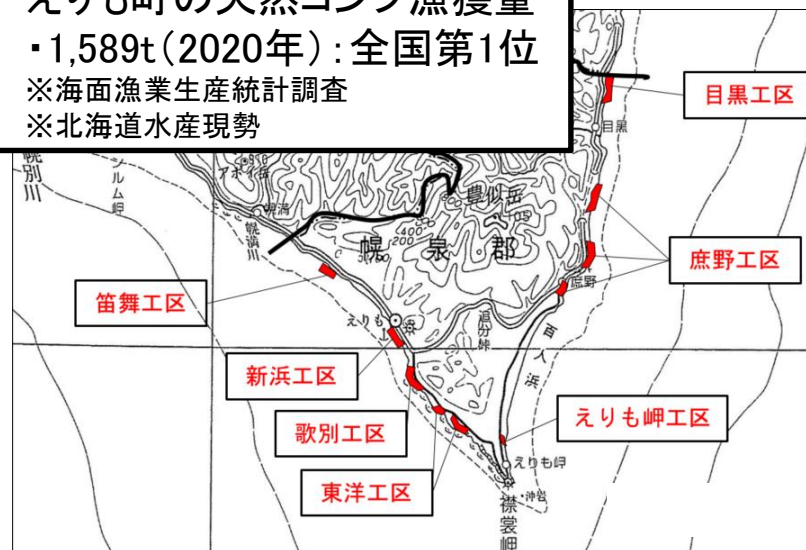
- CO₂吸収の調査・推計方法に関する技術的な助言

北海道大学大学院 情報科学研究院

- AIを用いた画像処理による効率的な海藻面積の把握

えりも町の天然コンブ漁獲量

・1,589t(2020年):全国第1位
※海面漁業生産統計調査
※北海道水産現勢



えりも町周辺の天然コンブ漁の実施工区

想定スケジュール

6月	関係者による検討会設置済
6月ー7月	えりも町周辺での現地調査
年内	CO ₂ 吸収量の算定

- ①藻場のCO₂吸収量の安価な調査手法の確立
- ②雑海藻駆除による吸収量増加の確認
- ③藻場の資源管理への活用

全体スケジュール

